



総務文教常任委員会

本会議において付託された案件は、条例関係2件、特別会計補正予算2件、その他1件、請願1件の計6件である。また、予算常任委員会より、平成24年度仙北市一般会計補正予算(第6号)の内、当分科会に係るものが分担された。

議案第112号

仙北市学校給食センター条例の一部を改正する条例制定について

問 角館児童館に大曲養護学校の分教室が開設され、児童・生徒に給食を提供する事に伴い、一部改正するものがある。給食費の額とメニューはどのようなものか。

答 給食費については、市内の小中学校と同額とし、メニューについても同一とする。特別支援学校の児童生徒には、個別にきざみ食が必要となる子供やアレルギー体質の子供については、現在もアレルギーとなる食材についての対応をしているので、市内の小中学生と同一の対応をして行きたい。

問 食材の放射線測定はどのようにするのか。

答 現在は、供給する側である程度測定したうえで出荷されているが、仙北市の給食センターでは、市民の不安を招かないように産地についてはかなり配慮している。また、県で行っている放射線測定を月2回程度、各給食センターから食材を持ち込んで測定を受けている。結果については、ホームページ等で公表している。更に色々な方法で給食の安全性について周知して行きたい。

○採決の結果

条例関係2件、特別会計補正予算2件、その他1件については全会一致で原案を可とすべきものと決定した。

請願第4号

伝建群保存地区における保存整備計画の早期実現を求める請願書

請願の趣旨に賛同し、全会一致で採択するものと決定した。

平成24年度仙北市一般会計補正予算(第6号)

○総務部関係

・クニマス里帰りプロジェクト事業費

問 総務的に多額の金額を投入して行くとなると、行政の執行目的をどこに置くかという事を決定してから予算を執行すべきと思う。しかし、現状はクニマスという話題に価値観を求めた行政執行であり、住民の納得を得られるか疑問である。終着駅をどこに置くのか。

答 クニマスがきっかけとなり事業が始まった。完全に田

沢湖を再生できるかどうかという事はあるかと思うが、目的としては田沢湖の再生という大きなテーマとしている。

問 田沢湖の再生を求める事とすれば、東北電力に対して水利権について交渉をしているか。それだけの行政目的を持っているとすれば、当然、東北電力との交渉も平行して進めて行かなければならない。

答 これをやったという話しを聞いた事がどうか。

答 東北電力についてはプロセスの問題で、そうした事が

生じて来ると思うが、まだそこまで至っていない。県のプロジェクトで水質の検討等進めているが、そうした事も踏まえて行かなければならないと思う。ただ、平成28年3月31日に水利権が切れる事から、話し合いに向けて早めに準備を進めて行かなければならない。

○教育委員会関係

・常設・企画展示費、片岡鶴太郎展

問 AKTとの共催という事であるが、総額ほどの位になるのか。また、開催時期が角館の観桜会と重なるよう、旧角高グラウンドの駐車場を利用するとなると、かなりの混雑が予想されるが、開催時期をずらすなどの考えはないか。

答 総額は約2千万円弱になるものと想像しており、その内、市の負担分は約80万円になる。時期については、AKT事業開発部の方から桜の名所の角館でという事で、是非この時期に行って頂きたいという事でお受けした。車等の混雑解消については、関係の方々に呼び掛けて行き、駐車場の件も含め何とかうまく対応していきたい。



再生に向けてのプロセスを大切に(厳冬の田沢湖)

(田口寿宜記)



市民福祉常任委員会

本会議から付託された案件は3件、予算常任委員会から付託された案件は1件である。

議案119号

平成24年度仙北市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

議案120号

平成24年度仙北市介護保険特別会計補正予算(第2号)

前記2議案は全会一致で可決

議案126号

公の施設の指定管理者の指定について(仙北市民浴場東風の湯)

問 温泉単体で利益を出すのは難しいと思う。市から千二百万の委託料のほかに今後、修繕や大規模改修の可能性が予測される。指定管理を続けるだけで、莫大なランニングコストがかかる。指定管理者となるアロマ田沢湖も含め東風の湯の経営について検討するところになっていくのではなか。

答 市民の憩いの場で、福祉

の面で機能しているので指定管理の形をとっている。民間の方々からは公の財源を入れてしかも赤字経営だということとは市民として放っておいてよいのかと問われる。第3セクターとしての憩いの場づくりという段階は過ぎてしまっているという認識で、経営コンサルタントの方に、市内の第3セクターの経営分析をしていただき、それをもって人事の削減や共通経費の削減を図り、第3セクターに整理統合について提案を行った。アロマ田沢湖では、事業展開のメニューを模索し、社員で勉強会を開催し知恵を絞り経営改善も図っている。早急な整理統合は回避してほしいという願いがある。

経営努力が見えるような成果があればそのあとのことも考えられるが、そうでない場合は、提案した内容で進めるしかないと伝えている。

賛成討論

温泉のみでの利益は出にくいことは東風の湯に限ったことではないが、この後、修繕

や大規模改修が予想され、その時に、施設を維持管理していくことができるのか心配である。憩いの場を提供することとは大変素晴らしいが、一方では限られた財源の中で維持管理運営をすることが厳しくなっているのではないか。これを機会に、東風の湯のあり方、これを指定管理する第3セクターのアロマ田沢湖やその他の第3セクターについても、この後どのように効率化していくのか考えていただくことを付して賛成である。全会一致で可決された。

議案第114号

平成24年度仙北市一般会計補正予算(第6号)

交通防犯対策費について

問 市の管理、町内会等で設置し管理しているものが混在しているが今後の管理体制はどうか。

答 省エネ化と長寿命化の観点から、来年度から効率が良いLED化を進める。市の管理、地域で管理している街灯を一緒の事業の中で進めたい。管理基準の棲み分けを検討したい。

交通指導隊費について

問 年間の出勤回数と備品購

入費の制服代について
答 58回で延べ人数は690人。4・8・9月は行事等が多くなっている。今回は3名分の冬服を購入したい。

問 交通指導隊の編成は37名であるが人数は妥当か。

答 出勤回数が多くなる時期は振り分けが大変なようだが、ローテーションを考えると必要と思う。

保育園入所待機児童等の支援事業費について

問 託児サービスを担うボランティア応援も必要と考えるが検討はしているか。

答 田沢湖、西木地区にも遊休施設を利用しながら託児サービスをしたい。県の講習を受けられる方が必要になる。県の補助金もあるが、無くても市の単独財源でボランティアの育成を考えた。

危険空き家対策費について

問 2分の1補助で上限が50万円の3棟分150万の対象家屋はどこか。

答 特定の空き家を想定したものではない。調査結果、最も危険空き家が4棟あった。

問 補助金を交付にあたっての交付要綱はあるか。

答 素案がある。解体の意思があり経済的理由で解体できない方に支援する。所有者不明、意思決定が無い場合などは今後制定予定の条例で解決を図る。

(平岡裕子記)



委員会の審査風景



産業建設常任委員会

本会議より付託された議案は9件、請願1件、予算常任委員会より付託された議案は1件である。

前記7議案は、全会一致で可と決定

■議案第127号

公の施設の指定管理者について（仙北市外町交流広場）

問 指定管理者の経費削減の主な内容について。

答 こまめな節電により、光熱水費が削減された。

◎討論

行財政改革の中での指定管理者のあり方について、更なる向上と施設の構築を目指して、努力して欲しいとの意見を付して賛成である。

全会一致で可と決定

■議案第128号

公の施設の指定管理者について（かたまえ山森林公園等）

問 指定管理者への応募から選定に至るまでの経緯、業務内容について。

答 事前の説明会には3社が参加し、応募があったのは2社である。指定管理者候補者選定委員会で審査の結果、田沢湖自然体験センターが候補

者として適当である団体と認められ、答申を受けたものである。業務内容は、4月から10月までの7ヶ月間、施設を活用し、観光客に自然体験をさせていただく取組みを行っている。当該団体は、田沢湖キャンプ場も運営しており、ノウハウを備えた団体で、利用者、販売額共に増加傾向にあり安定して管理できる団体である。

◎討論

議案第127号同様に、更なる努力を望むとの意見を付して賛成する。

全会一致で可と決定

■請願第3号

県道広久内角館停車場線普沢踏切付近における道路改良について

利用者の安全を第一に考え、全会一致で採択すべきものと決定

■議案第114号平成24年度仙北市一般会計補正予算（第6号）

大規模肉用牛肥育団地整備事業費補助金に関して

問 なぜ今まで、地元住民や議会等関連する所へ理解を得る説明や働きかけをしなかつたのか。

答 平成22年10月に全農を紹介して大平畜産工業を紹介されたが、その後、具体的な提案は無かった。今年の11月7日に地権者との合意が得られたという状況から物事が急変していく。土地が内諾を得て、出資するJAも役割を担おうとなり、それを県が察知して応援しようとする状況が11月中旬である。秋田県が、基金を取り崩してまでも、12月補正に上げてくれたと感謝したいところだが、こちら（市当局）で、一番大事な地元の方への情報の提供が遅れていくという事があったのは、大変申し訳ないと思っている。

従って急転直下で誘致する環境が動いた中で、説明不足が生じた事は理解して欲しい。

問 北海道鹿追町へ行つた時の状況を聞かせて欲しい。

答 今年の8月に現地を視察してきた。畜舎に入るといくらかにおいはするが、外に出るとほとんどにおいはしない。汚水処理については、敷物（特殊なチップ）に吸わせて処理しているので汚水としては出ない。

■委員会意見

大規模肉用牛肥育団地整備

事業費補助金については、その事業の必要性については各委員が一致して認めるところであり、仙北市の畜産振興のみならずあきた県全体に及ぼす波及効果も期待できるものであり、水田活用の面からも、稲WCSや飼料米の増産が見込まれることや、良質な対比の投入による循環型農業の推進が期待される。

しかし、この事業の取組み過程においては、議会への説明や建設予定地域住民への説明、協力の依頼や不安解消に向けた取組みが時期を逸した事。また、準備不足、努力不足は市当局の責任重大である。

地域住民の理解・協力をなくしてこの事業の推進は不可欠であり、一刻の猶予する事なく市を挙げてこの課題解決に取り組む事が必要である。又、市当局においては、市政運営のパートナーとして議会及び住民を軽視することなく、徹底した情報公開が図られることを望むものである。本分科会は非常に重い判断をし、この予算は当該地域の理解・協力が得られた後に執行すべきものと意見を付するものである。

（熊谷一夫記）